

「脳卒中研究者新ネットワークを活用した脳・心血管疾患における抗血栓療法の実態と安全性の解明」研究

に参加いただいた患者さん・ご家族様へ

研究期間延長のお知らせ

当院では、2016年から「脳卒中研究者新ネットワークを活用した脳・心血管疾患における抗血栓療法の実態と安全性の解明」研究を行っております。この研究は、脳血管障害（脳梗塞、一過性脳虚血発作）や心血管病（冠動脈疾患、末梢動脈疾患、深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症）を予防するために抗血栓薬を内服している方を対象に、普段の診療で得られた情報を診療録から収集して解析を行う研究です。本研究では2019年までに参加登録は終了しており、現在は収集データの解析を行っている段階で、当初はその解析を含めた研究期間を2026年3月31日までと設定しておりました。しかしさまざまな解析を行うためにはもう少しばらばらの研究期間が必要と考えられ、この掲示にて研究期間の延長をお知らせします。ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、以下の問い合わせ先担当者までご連絡ください。また、この研究に関して既に収集してある情報を使ってほしくないとのご意思がある場合も、遠慮なくご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、削除すべき情報が特定できない場合や、解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【研究課題名】 「脳卒中研究者新ネットワークを活用した脳・心血管疾患における抗血栓療法の実態と安全性の解明（BAT2研究）」

【対象となる方】 2016年から2019年までの間に当院でBAT2研究の参加に文書同意をされた方。

【研究の目的・意義】

この研究では、脳血管障害や心血管病の予防を目的とした抗血栓薬治療の実態（薬の種類、投与方法、検査結果、合併症など）を国内の多施設で協力して調べ、出血合併症を主とした安全性を明らかにすることを主な目的とします。研究成果をもとに、日本の診療実態に即した出血合併症予測の方法を開発し治療の指針を国内外に提唱します。

【利用する診療情報】

あなたの性別、年齢、人種、抗血栓薬内服に関連する情報、既往・併存疾患、飲酒・喫煙などの嗜好、血圧、脈拍、血液検査結果、撮影した頭部MRI画像です。

【研究の実施体制】

国内50以上の施設が参加し研究を行う多機関共同研究（研究代表者：国立循環器病研究センター副院長 豊田一則）です。

【研究期間】 研究許可日より2035年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

以下の点に留意して解析を行います。1) 研究参加者個人を特定できるような分析は行わない。2) 各施設のデータを収集する時点で、名前等の個人情報ではなく、研究用の登録番号を割り当てることで、各施設のデータと照合出来ないように管理する。3) 研究責任者によるデータ管理を徹底し、学会・論文などの研究成果発表を除いて部外へデータが流出しないよう細心の注意を払う。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】

東京都済生会中央病院 脳神経内科部長 大木宏一 電話 03-3451-8211(病院代表)